



子育て



医療



障害者支援



高齢者介護

コロナ禍で地域を支える エッセンシャルワーカー

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、私たちの日常生活は、医療や子育て、高齢者介護、障害者支援、警察・消防、公共交通機関、電気・ガス・通信、小売・流通、清掃・リサイクルなどの分野で働く、「エッセンシャルワーカー」と呼ばれる方々に支えられています。

今回、区民の命や生活を支える現場で奮闘する方々の姿や思いに迫ります。▶問合せ: 広報係 ☎5984-2690 FAX 3993-1194

区民の命と生活を支える ～その姿と思い

コロナ禍で、区民の命や生活を支えるために奮闘するエッセンシャルワーカー。今回は、医療、高齢者介護、子育て、障害者支援の現場で活躍する4名の方にお話を伺いました。

医療 (診療所) 知久医院 知久信明さん



「練馬区モデル」を担うかかりつけ医
区では、練馬区医師会の協力のもと、診療所での個別接種と病院・区立施設の集団接種を組み合わせ「練馬区モデル」によるワクチン接種が進んでいます。地域に身近な診療所である知久医院では、内科・外科の診療に加え、ワクチン接種やPCR検査を行っています。

高齢者介護 (特別養護老人ホーム) 関町特別養護老人ホーム 大貫綾さん



高齢者の命を守る介護士
特別養護老人ホームには、日常生活で常に支援や見守りが必要な高齢者が入居しています。高齢者はコロナに感染すると、重症化する恐れがあります。介護士は感染対策を徹底した上で、食事・排せつ・入浴のサポートなど、入居者が安心して生活するために必要な支援を行っています。

子育て (練馬こども園) 向南幼稚園 田中萌子さん



子どもの成長を見守り支える保育者
区は、長時間の預かり保育や3歳未満のお子さんの預かり保育を行う私立幼稚園を「練馬こども園」として認定しています。練馬こども園では、コロナ禍にあっても、預かり保育を続け、子どもたちの成長を見守り支えています。

障害者支援 (福祉園) 田柄福祉園 八木橋将之さん



障害のある方の日常生活を支える支援員
福祉園は、重度の障害のために常時介護や見守りが必要な方を支援する通所型の施設です。利用者の中には、マスクを着用できない方もいます。支援員は日々、試行錯誤しながら、身辺介護や創作・余暇活動のサポートをしています。

地域医療を担う医師として

昨年2月。クルーズ船での新型コロナウイルス集団感染のニュースが世間を騒がせている頃、当院にも異変がありました。感染を恐れ、いつも来てくれる患者さんが顔をみせなくなりました。安心して来院してもらえよう、入り口での検温や消毒、換気など、感染対策を徹底するようになったのもこの頃からです。さらに、昨年10月、東京都からコロナの診療・検査医療機関として指定を受け、当院で唾液によるPCR検査ができるようになりました。身近な診療所でPCR検査を受けられるので、地域の方には大変喜ばれています。

今年6月から診療所でのワクチン接種が始まっています。「練馬区モデル」によるワクチン接種は、集団接種とともに、かかりつけ医が「早くて 近くて 安心です」をコンセプトに行うものです。長距離の移動が難しい高齢者でも、近所の主治医の所で接種できます。中には接種場所として当院の名前があったので、ホッと涙が出たという方もいました。これまで、練馬休日急患診療所・PCR検査検体採取センター・集団接種会場・感染者の宿泊療養施設での問診や診察、年末年始やゴールデンウィークの発熱外来を引き受け、ほぼ休みなしで診療を行っています。積極的にコロナの患者を診療する原動力となっているのは、「地域医療を担う医師としての使命感」と「同じ志をもつ医師会の先生方の存在」です。私には信条があります。「患者には愛情を、病気には闘志を」。父の師である宮本忍先生の言葉です。これからも、愛をもって患者さんと向き合い、コロナと闘っていきます。

**患者には愛情を、
病気には闘志を**



命を守るため、施設の運営を続ける

感染拡大が始まって間もない頃、どのような対策をすればよいか、分からない状況でした。区の研修に参加し、感染予防の専門家にアドバイスをいただき、感染対策を学びました。入居者だけでなく、職員が濃厚接触者になると、施設を運営できず、入居者の命を守ることができなくなります。万が一、施設内で感染者が出ても、濃厚接触になる職員を減らすため、職員をフロアごとに固定し、接触の機会を減らしています。

入居者の中には、認知症などによりコロナ禍を正確に認識できない方もいます。感染拡大防止のため、ご家族と面会ができない状況が続いていますが、なぜ家族に会えないのか理解できず、ストレスや寂しさを感じています。

私たち介護士の仕事は、日常生活のサポートだけではありません。心のケアも大切な仕事です。「目線をしっかり合わせる」「笑顔で接する」といった基本的な動作を、これまで以上にしっかり行うよう心掛けています。時間がない中でも目線を合わせるだけで、入居者の表情がパツと明るくなる時があるんです。

多くの入居者にとって、この場所が最後の生活の場となります。この仕事は、最期を着取る悲しさや責任を感じることもあります。入居者の人生に深く関わる尊いものだと思っています。これからも、入居者が安心して穏やかに暮らせるようサポートを続けていきます。

**高齢者の人生に
深く関わる
尊い仕事だから**



コロナ禍でも子どもたちに成長体験を

コロナ禍で当園も大きな影響を受けました。昨年4月から約2カ月間、区立小中学校・幼稚園と対応を合わせ、当園も休園しました。一方で、預かり保育は続けました。エッセンシャルワーカーの方などの生活を支えるためです。その後も、在園時間の短縮や分散登園など、工夫しながら運営を続けています。

園では、行政の指針をもとに独自の感染対策マニュアルを作成しています。子どもの命を預かる場所なので、日頃から職員全員で感染対策を徹底しています。また、子どもたちにも、分かりやすい言葉で丁寧に伝えるよう工夫しています。

コロナ禍で、遠足やお祭りなど多くの行事が縮小になり、集団生活を通して学べる機会が減ってしまいました。私たちは「子どもの成長にとって大切なことは何か。コロナ禍でも工夫できることはないか」を考えました。幼少期は、豊かな心を育むための大切な時期です。そのためには、「子どもたちの温かいコミュニケーションと、子ども同士が関わりあう活動は欠かせない」という思いに至りました。手洗いやマスク着用の援助を丁寧に行いながら、保育内容の充実を図っています。

子どものいきいきとした表情や元気に活動している様子を見ると喜びを感じます。これが私たちのやりがいです。子どもたちとのかけがえのない瞬間を、これからも大切にしていきたいです。

**子どもにとって
大切なことを
考え続けたい**



障害のある方とともにコロナ禍に挑む

昨年3月。感染拡大が進む中、私たちは翌年度の全ての行事を中止にしました。一方で、福祉園での時間は利用者の生活の一部となっているため、感染対策を行った上で、行事以外の生活支援は続けてきました。

当初は、利用者も大きな不安を感じていました。今まで当たり前のように行っていたスキンシップや会食などが急にできなくなったことを理解できず、ストレスを感じたり、パニック状態になったりすることもありました。また、長時間マスクを着けることができない利用者もいます。感染対策を行うことは、利用者にとってチャレンジだったのです。

コロナ禍は、私たち支援員にとってもチャレンジです。多くの行事が中止になる中、利用者を楽しんでもらえることはないか…。日々、試行錯誤しています。園内では、マスクを着けることを「マスクチャレンジ」と命名しています。「5秒しか着けられなかった…」ではなく、「今日は5秒着けられたね！明日は10秒にチャレンジしよう！」といったように、利用者にもポジティブな気持ちになってもらいながら、感染対策に取り組んでいます。

新たな取り組みとして、園内の様子をご家族にオンライン配信したり、利用者と一緒に電動工具を使って棚を作るDIY活動を行ったりしています。このような時だからこそ、ポジティブにチャレンジしたい。これからも、安全に楽しく生活できるよう、利用者とともにコロナ禍に挑んでいきます。

**このような時
だからこそ、
チャレンジを**



コロナ禍で闘うエッセンシャルワーカーの皆さまへ

感謝のメッセージ

寝たきりになり診療所に行くことが
難しいが、先生が往診してワクチン
接種をしてくれたことに感謝しています。
診療所患者

福祉園では、しっかり感染対策を
してくれていることが伝わります。
努力して、受け入れを続けてくれて
ありがとう。
福祉園保護者

特別養護老人ホームの介護士さんからは、
コロナ禍でも変わらない「きめ細かい心づかい」
が感じられる。
いつもサポートをしてくれて、ありがとう。
特別養護老人ホームご家族

緑地に不法投棄されたごみを作業員の方が
速やかに撤去してくれた。
おかげで、毎日気持ちよく生活できます。
区民

子どもたちが保育園で安全に
過ごせるように感染対策を
しっかりしてくれてありがとう。
保育園保護者

通勤するために電車は欠かせません。
駅員さんも感染リスクがある中、
運行を続けてくれてありがとう。
鉄道利用者

福祉園の支援員さんは明るくて、
お話しするのが楽しい。
いつもありがとう。
福祉園利用者

先日、家族が救急車で
緊急搬送されました。
素早い対応で命を救ってくれた
消防士の方に感謝しています。
区民

コロナ禍でも、作業員の方は
毎日ごみの収集を続けてくださっている。
いつもありがとう。
区民

小売・流通業の方がコロナ禍でも
頑張っているから、食料品や生活必需品を
買うことができる。
生活を支えてくれてありがとう。
区民

気心の知れている先生の診療所で
ワクチン接種ができると聞いた時、
ホッとして涙が出ました。
診療所患者

担任の先生の
優しいところが大好き。
いつも一緒に遊んでくれて
ありがとう。
幼稚園児

感染してしまったかなと思った時、
身近な診療所でPCR検査を
してくれて助かりました。
診療所患者

ワクチン接種のことが知りたくて
区役所に行ったが、
職員が分かりやすく丁寧に
説明してくれた。
区民

いつも行くスーパーでは、
レジの方が親切に対応してくれる。
感染リスクがある中、プロの接客を
してくれることに感謝。
小売店利用者

コロナと闘う全ての皆さまに心から感謝申し上げます。
この難局をともに乗り越えましょう。